

タイトル…『ファニーたい焼きトム49
牛タン』

第一幕…奇抜な新商品、誕生！

場所…東京都内の商店街にある『たい焼きトム』の店内。 時間…午前10時、開店準備中。

(店内にはたい焼きの甘い香りが漂い、店主のトムが生地をこねながら歌っている。)

トム…(ノリノリで)「ファニーファニーたい焼き」、どこよりファニーなたい焼き！ (振り向いて) 魚住、今日は特別なたい焼きを作るぞ！

魚住…(ため息) まさか…また変なやつですか？

トム…その通り！今日の主役は…ジャジヤーン！牛タンだ！！（ドンとテーブルに牛タンの塊を置く）

魚住…（絶句）…え、牛タン！？たい焼きに！？

トム…そうさ！見ろ、この輝くような肉の質感を！ピンク色の断面、まるで宝石のようだろう！？

魚住…（引き気味）いや、牛タンってそんな見方するもんでしたっけ…？

トム…いいか魚住、日本人は牛タンが好きだろう？しかも、仙台の厚切り牛タンを特製の醤油ダレに漬け込んで…ふふ、じっくり炭火で炙ってから、生地で包むんだ！

魚住…（頭を抱える）絶対…絶対…売れませんよ、それ。

トム…(ニヤリ) まあまあ、まずは試してみらんだ！ほら、試食第一号！

(トム、焼きたての牛タンたい焼きを差し出す。生地は黄金色に焼き上がり、はじけるような香ばしさが漂う。魚住、恐る恐るかじる。)

魚住…(モグモグ) んっ…！(目を見開く)
え、何これ…！？

(中からじゅわっと肉汁があふれ出す。牛タンのプリプリした弾力、噛めば噛むほど広がる旨味が、生地ふわっとした甘みと絡み合い、絶妙なバランスを生み出している。)

魚住…(驚愕) え、ちょっと待ってください。これ、めちゃくちゃ美味しいじゃないですか！？

トム…(ドヤ顔) だろ！？甘じよっぱい生地と、香ばしく焼かれた牛タンのジューシーさ！そして、秘伝のタレが絡むことで、口の中が天国になる！

魚住…(夢中で食べ続ける) これ、ダメです…私、止まらなくなります…！

トム…(ニヤリ) よし、販売開始だ！

第二幕…お客さんたちのリアクション

(店の開店時間。最初のお客さんが入ってくる。)

常連客・田中(50代男性)：「お、今日は何の変なたい焼きがあるんだ？」

トム…「ハロー田中サン！今日は『牛タ
ンたい焼き』だ！」

田中…(目を丸くする)「ぎゅ、牛タン！？
お前正気か？」

魚住…(心の中)(私も最初はそう思いました…)

田中…(興味津々で)「…まあ、お前の作るものは意外とうまいからな。一つもらうか。」

(田中、たい焼きを受け取り一口かじる。)

田中…(モグモグ)「おお…!?」(目を見開き、一瞬止まる)

(牛タンの弾力と生地柔らかさが絶妙に合わさり、口の中で旨味が爆発する。じゅわつとあふれる肉汁と、生地に染み込んだ甘じょっぱいタレの香ばしさ。)

田中…「……こ、これは…！」(感動した顔)

トム…「ね？フアニーだろう！」

田中…「フアニーどころじゃねえ！う、うまいぞ、これ！甘い生地と牛タンの旨味：こんな組み合わせ、誰が思いつくんだよ！」

（後ろに並んでいた客たちがざわつく）

若い女性客…「え、そんなに美味しいの？私も一つください！」

（彼女もかじると、驚いた顔になり、手を口元に当ててる）

若い女性客…「うそ：！もちもちの生地の中からジュワツと溢れる肉の旨味：！口の中で牛タンと甘じょっぱいタレが絡み合って：これ、想像以上に美味しい：！」

中学生…「うわっ、変なの！でもめっちゃうまい！」

（一口食べた途端、目を丸くし、次の瞬間夢中で食べ進める）

中学生…「やべえ…こんなの食ったことない！甘いのかしょっぱいのか、どっちなんだ！？でも最高！！」

サラリーマン…「昼飯にピッタリかもしれない…！」

（彼もまた、一口食べると、目を閉じて味わい、頷く）

サラリーマン…「…くっ…！このバランス…！たい焼きはデザートって思ってたけど、これはメインディッシュだ…！」

（次々とやってくる客たちが驚き、感動し、歓声を上げる。店内は活気に溢れ、たい焼きが飛ぶように売れていく。）

（評判が良く、どんどん売れていく牛タンたい焼き。）

魚住…「え、ええ！？なんで！？みんな
意外と受け入れてる！？まさかの大行
列！？」

トム…（満足げに腕を組み）「フッフ…フ
アーニーなアイデアは、時に人々の常識を
変えるのさ！」

（店の前にはどんどん人が集まり、長蛇の
列ができる…！）

第三幕…バズる牛タンたい焼き！

（翌日、SNSで牛タンたい焼きが話題にな
り、店の前には開店前から長蛇の列がで
きている。）

魚住…「えっ！？えええええ！？なんで
すかこの行列！！」

トム…「フッフ、ついに時代がオレに追
いついたな！」

（行列の中では、スマホを持った若者たちが興奮気味に話している。）

大学生 A: 「昨日の動画見た！？あの牛タンたい焼き、ヤバすぎるって！」

大学生 B: 「バズりすぎでしょー！TikTokで100万回再生超えてた！」

インフルエンサー: 「みんな〜！今日は話題の牛タンたい焼きをレビューしてきました〜！」（カメラを構えながら実況）

（トムが誇らしげに焼き場に立ち、次々と牛タンたい焼きを作る。生地が鉄板の上でジュワツと焼ける音、香ばしい香りが店内に広がる。）

（カメラを回しながら、一口かじるインフルエンサー）

インフルエンサー: 「一瞬沈黙」: 「!!!!」

（目を大きく見開き、震える手でたい焼きを見つめる）

インフルエンサー…「えっ、なにこれ、やばい。生地のおみやげと牛タンのジュースーさが…っ！これ、異次元！」

（コメント欄が大盛り上がり）

視聴者コメント…

「え、ガチうまそう」

「こんなの食べたことない！！」

「仙台に匹敵する牛タンってマ

ジ？」

「日本行ったら絶対食べる！」

（店内は次々と来店するお客で大混雑！）

魚住…「す、すごい…！たい焼きの概念が変わってる…！」

トム…「そうさ、フード革命だ!!」

(そこへ突然、巨大な観光バスが到着!)

観光ガイド…「皆さん、これが今話題の『たい焼きトム』です!本日は特別ツアーで100名様ご案内します!」

魚住…「ひゃ、100人!?!」

(バスから続々と外国人観光客やフードブロガーが降りてくる。)

フードブロガー:「Oh my god!この牛タ
ンたい焼きを食べに日本に来たよ!」

(食べた途端、感激のあまり涙を流す人も
現れ、行列がさらに伸びていく。)

第四幕…世界を巻き込む牛タ
ンたい焼きパーティー!

(テレビ放送後、全国区の話題になり、ついには海外メディアまで取材にやってくる。)

CNN 記者: 「This is a Taiyaki Revolution!

(これはたい焼き革命だ!)」

BBC レポーター: 「日本のストリートフードが次のトレンドを生み出した!」

(店の前は世界各国からの観光客で埋め尽くされ、ニュースへりまで飛び始める。)

魚住: 「へりまで!? これもうおかしいですよ!」

トム: 「フハハハ! ファニーは国境を超えらんだ!」

(世界中の飲食チェーンが『牛タンたい焼き』に目をつけ、フランチャイズ展開の

オフィーが殺到。ついに牛タンたい焼き
が海外進出へ！)

(アメリカ・ニューヨークで『Taiyaki

Tom's』オープン初日、数千人の行列がで
きる！)

ニューヨーク市民：「This is INSANE! (こ
れはヤバすぎる！)」

(スタジアムの電光掲示板にも『牛タンた
い焼き』の広告が流れ、スーパーポウル
のハーフタイムショーにまで登場！)

スーパーポウル司会者：「Ladies and
gentlemen, introducing... the one and only,
TAIYAKI TOM!」

(トムが巨大たい焼きを持って登場し、満
員の観客が大歓声を上げる！)

魚住：「もう何がなんだか：！：！：！」

(全世界を巻き込むたい焼きファイバー、
果たしてどこまで続くのか…!?)

第五幕…たい焼き宇宙へ!

(牛タンたい焼きが世界中で大流行し、ついにNASAが興味を示す。)

NASA 広報: 「人類が宇宙へ持っていくべき究極の食べ物、それは…牛タンたい焼きだ！」

魚住: 「いや、何言ってるんですか!？」

(トムは宇宙服を着せられ、NASAの施設に招待される。)

NASA 科学者: 「これをISS(国際宇宙ステーション)で提供すれば、宇宙飛行士の士気が爆上がりします！」

(ついに、宇宙へ向けて牛タンたい焼きが発射される!)

（国際宇宙ステーションの宇宙飛行士たちが、無重力空間で牛タンたい焼きをキヤッチして食べる。）

宇宙飛行士 A: 「…（無言で一口）」

宇宙飛行士 B: 「…（震える手でもう一口）」

（次の瞬間、宇宙船の中にオーロラのような光が広がる！）

宇宙飛行士 A: 「う、うま…！」

宇宙飛行士 B: 「これは…宇宙の味だ…！」

（その瞬間、ISSの通信が世界中に流れてしまい、地球上の全人類が宇宙飛行士たちの歓喜の叫びを聞くことになる。）

地球の視聴者…

「NASA公認のたい焼きとかヤバ

さー」

「宇宙食に採用されたってマジ？」

「これもう地球代表の食べ物でし

よ」

(さらには、たい焼きトムの人気が宇宙人にまで届いてしまう。)

(突如、DFOが東京上空に現れ、金色のたい焼きを掲げた異星人が降り立つ。)

宇宙人：「ワレワレハ、ウシタン・タイヤキヲ、コノセイカイデサイコウノグルメトミトメタ。」

(トムが満面の笑みで宇宙人にたい焼きを手渡す。)

トム：「Welcome to the Taiyaki Revolution！」

(宇宙人がたい焼きをかじり、目を輝かせる。)

宇宙人…「コレハ：ワレワレノ ホシデモ
ツクラネバ：！」

（宇宙人たちは歓喜のあまり、トムを自分
たちの星に招待しようとするが…）

魚住…「ダメです！トムさん、地球に残
ってください！！！」

（最後は、地球規模のたい焼きブームが宇
宙にまで拡大し、銀河の果てまで牛タン
たい焼きの噂が広がるシーンで締めくく
られる。）

ナレーション…「こうして、牛タンたい
焼きは宇宙を超え、銀河の味となったの
であった…！」

（画面フェードアウト、エンドロール
へ…）

第一幕（15分）

- トムが新作「牛タンたい焼き」を發明
- 魚住が困惑しながらも協力
- 試作シーン、トムのこだわりが語られる

第二幕（20分）

- お客さんたちのリアクションを細かく描写
- 味や食感の説明、特に飯テロ的な表現を強調
- 最初は戸惑いながらも、ハマる人が続出

第三幕（20分）

- SNSでバズり、行列ができる
- インフルエンサーが訪れて爆発的に話題に

- 観光バスが到着、外国人観光客まで押し寄せる
- 店内の大混雑とトムのハイテンション対応

第四幕（15分）

- 世界中で「牛タンたい焼き」フィーバー
- メディアが取材、ニューヨークで店舗オープン
- スーパーボウルのハーフタイムショーに登場

第五幕（15分）

- NASAが宇宙食に採用し、宇宙ステーションへ
- 宇宙飛行士が感動、地球へ生中継される
- 宇宙人が現れ、たい焼き外交が始まる

• トム、ついに銀河の英雄に！？